

実践④ お話の会 たんぽぽ

1 はじめに

薩摩川内市の城上地区で活動をしている。家庭教育学級の講演会がきっかけで、絵本の大好きなお母さん方が集まり、平成12年1月に5人で発足した。

その後、会員の子どもたちが小学校を卒業したのを機に、城上地区コミュニティ協議会の自主学級として活動するようになった。メンバーの入れ替わりもあるが、現在6人で活動している。

2 活動の実際

(1) 城上小学校での朝の読み聞かせ

毎週木曜日、朝読書の時間に15分間、各学級に一人ずつ入り、読み聞かせを行っている。小学校の保護者や地域の方々に協力をいただき、今年度は7人の朝読書ボランティアの方々と共に活動している。

各学級に朝読みファイルを準備し、毎回読んだ本を記録して、いつ、どんな本が読まれたかなど、次の選書の参考になるようにしている。1年生の時から記録があり、子どもたちは6年間で500冊以上の本を読んでいる。



<朝の読み聞かせの様子>

(2) 城上幼稚園でのお話会



<お話会の様子>

年6回、13:00から13:30の30分間行っている。

「♪たんぽぽ たんぽぽ たんたんたん〜♪」の手遊びで始まり、わらべうた、素話、パネルシアター、エプロンシアター、絵本、紙芝居などを行っている。子どもたちが楽しめるように、参加型やその季節に合ったおはなしを取り入れながら、毎回「♪さよなら あんころもち またきなこ〜♪」の手遊びで終わる。

「たんぽぽさんがきた〜。」と私たちが待っている子どもたちの笑顔から、いつも元気をもたらしている。

(3) その他の活動

ア 年中行事や日本の文化に関するイベントの実施

子どもたちに年中行事や日本の文化を大切にしてほしいという思いを込めながら、七夕飾りとクリスマス会を毎年行っている。

城上小学校の各フロアに一本ずつ笹を設置させてもらい、子どもたちはもちろん保護者や先生方にも短冊に願い事を書いてもらっている。



<七夕飾り>



クリスマス会は、お話を 30 分行い、その後はお楽しみ会をしている。

今年度は、サンタと一緒に遊んで、「クリスマスリース」を作った。

<クリスマス会の様子>

イ 緑陰読書の実施

8月の緑陰読書では、原爆投下や戦争を忘れないために、戦争関連の絵本を最後に読むようにしている。今年度は、幼稚園と小学校それぞれで緑陰読書を行った。



<緑陰読書(小学校)の様子>

ウ 出張お話会の実施

他校区の幼稚園、小学校や地域の敬老会、ふれあいサロンなど、依頼があったところで、出張お話会を行っている。

敬老会では、参加型のものを多く取り入れ行ったので、「え～、じゃんなあ～。」「じゃっ、じゃっ。」と盛り上がり一緒に楽しんでくださった。



<出張お話会(敬老会)の様子>



<城上地区文化祭に参加>

3 活動が認められて

3年連続で表彰された。長年の活動が認められことをうれしく思う。

- ・平成 27 年度 鹿児島県図書館協会 優良読書グループ表彰
- ・平成 28 年度 鹿児島県教育委員会 子どもの読書活動推進優良団体表彰
- ・平成 29 年度 子どもの読書活動優秀実践団体 文部科学大臣表彰

4 おわりに

私たち「たんぼぼ」は、当時小学生の保護者の有志が集まり発足したグループである。その子どもたちも今では親となり、朝読書ボランティアとして協力してくれている。学校や図書館のボランティアグループといった大きな団体ではないが、子どもたちに本の世界の楽しさを伝えられるよう「できることを できる人が 無理なくやる」をモットーに、これからも楽しみながら活動していきたいと思っている。